科目番号

①国語Ⅰ

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教 科	国語	科 目	現代の国語	単位数	2	学年・学科	Ⅰ学年・全学科
教科書	第一学習社 「標準 現代の国語」		副教材	学習課題集・常用漢字ダブルクリア・プレミアムカラー国語便覧			

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成します。
学習方法	○疑問点を見つけ、感想をメモしながら、様々な文章を読みます。 ○文章にまとめたり話し合いをしたりすることで、思考力や表現力を伸ばします。 ○語彙を増やし言語感覚を磨くために、言葉の意味を調べたり例文を作ったりする活動をします。

	評価の観点		評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合 考査	割合 考査以外
学習評価	a	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。 (言葉遣い、文の組み立て、漢字、四字熟語、ことわざ、情報の整理、読書などについて)	前期中間	35 %	25	10
				前期末	35 %	25	10
				後期中間	35 %	25	10
				後期末	35 %	25	10
	b	思考・判断・表現	・文章の種類に応じて、内容や構成・論理の展開について的確に理解している。 ・必要な情報を吟味して用い、目的や意図に応じて効果的に表現している。 ・目的や場に応じて情報を収集・整理して、効果的に話したり的確に聞き取ったりしている。	前期中間	40 %	20	20
				前期末	40 %	20	20
				後期中間	40 %	20	20
				後期末	40 %	20	20
	c	主体的に学習に取り組む態度(意欲)	言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語の能力を向上させようとしている。	前期中間	25 %	5	20
				前期末	25 %	5	20
				後期中間	25 %	5	20
				後期末	25 %	5	20

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	<世界を広げる> 「なぜ本を読むのか」	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深めます。	○	○	○	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b:各段落の要旨をわかりやすい言葉で整理し、読書の効用について考えを深めている。 c:本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析 (授業ノート・プリント、課題の提出) ・行動の確認 (小テスト、定期考査)
	「世界は謎に満ちている」	・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握します。	○	○	○	a:常用漢字を文や文章の中で活用している。 b:筆者の経験をもとにした例示が、主張の根拠になっていることを理解している。 c:学習課題に沿って積極的に実社会の中から適切な題材を集め、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	
	<話して伝える> 「話し方の工夫」	・相手や目的、場面に応じた言葉遣いの特徴を理解します。	○	○	○	a:話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 b:話し言葉の特徴や役割、表現の特色を理解して使っている。 c:積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	
	「待遇表現」	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解します。	○	○	○	a:敬語表現を意識した言葉遣いを理解している。 b:相手や場・目的に応じて敬語表現を使い分けることの効果や必要性について理解し使っている。 c:積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	
	<書いて伝える> 「書き方の基礎レッスン」	・表記や表現の基本ルール、接続表現の種類・用法、表現技法を理解します。	○	○	○	a:表現の基本ルールや工夫する方法について理解したことを説明できる。 c:進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。	
	<言葉が開く世界> 「言葉遣いとアイデンティティ」	・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深めます。	○	○	○	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b:各段落の要旨をわかりやすい言葉で整理し、人間関係における「言葉」の役割について考えを深めている。 c:言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表しようとしている。	

前期末	「言語としてのピクトグラム」	・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深めます。	○	○	○	a:言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解している。 b:筆者の主張するピクトグラムが有する可能性を理解している。 c:積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表しようとしている。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析(授業ノート・プリント、課題の提出) ・行動の確認(小テスト、定期考査)
	<話して伝える> 「論理的な表現」	・主張と理由の関係性や妥当性について理解します。	○	○	○	a:論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解している。 b:主張と理由の適切なつながりを理解し、理由における事実と解釈を意識して話している。 c:進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	
	「情報の探索と選択」 「情報源の明示」	・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方、引用の目的と方法を理解します。	○	○	○	a:情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたや引用の具体的方法を理解している。 b:引用の目的について理解した上で判断し、理由を添えて自分の意見を伝えることができる。 c:進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味し、引用を適切に活用できるようになる。	
	<書いて伝える> 「取扱説明書を作成する」	・情報を相手にわかりやすく的確に説明する方法を理解します。	○	○	○	a:情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解している。 b:客観的な情報を用いて、説明の順序やレイアウトを工夫して作成している。 c:教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。	
後期中間	<人間と文化> 「水の東西」	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握します。	○	○	○	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b:対比関係をふまえて、日本人と西洋人の文化にどのような差異があるかを理解している。 c:情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析(授業ノート・プリント、課題の提出) ・行動の確認(小テスト、定期考査)
	「ステレオタイプの落とし穴」	・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深めます。	○	○	○	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b:具体的な事象と関連させながら、ステレオタイプの利点・欠点への考えを深めている。 c:本文を読んで考えを深め、「ステレオタイプの落とし穴」に陥らないために必要なことについて実社会から題材を求めて発表しようとしている。	
	<話して伝える> 「スピーチで自分を伝える」	・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践します。		○	○	a:自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践している。 b:構成を考えてスピーチ原稿を作り、声の大きさなどに気をつけて発表している。 c:進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	
	「相手に伝わる案内をする」	・目的に沿って相手に配慮しながら的確に案内する方法を理解します。	○	○	○	a:目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 b:案内の順序を考えたり相手がイメージしやすい情報を加えたりして案内している。 c:今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。	
	<書いて伝える> 「実用的な手紙文の書き方」	・依頼文と案内文の書き方を理解し、実践します。	○	○	○	b:手紙文を書く目的と読む相手のことを考えて書いている。 c:説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。	
後期末	<社会と人間> 「『弱いロボット』の誕生」	・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深めます。	○	○	○	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b:接続詞などに着目し要点をつかみながら各段落のつながりを理解し、ロボットと人との関係について考えを深めている。 c:本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	・行動の観察 ・記述の分析 ・行動の分析(授業ノート・プリント、課題の提出) ・行動の確認(小テスト、定期考査)
	「人はなぜ仕事をするのか」	・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察します。	○	○	○	a:常用漢字を文や文章の中で活用している。 b:問いと答えという文章構造を理解し、筆者が述べる仕事の本質について考えを深めている。 c:粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	
	<話して伝える> 「理想の修学旅行をプレゼンする」	・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践します。	○	○	○	b:資料などを効果的に使いながら、相手の反応を見ながら発表している。 c:進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	
	「合意形成のための話し合いを行う」	・話し合いの進め方のルールを理解し、論点を共有して話し合いを実践します。	○	○	○	a:話し合いの進め方のルールを理解している。 b:話し合いのルールを理解し、互いの意見を尊重しながら話し合っている。 c:実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。	
	<書いて伝える> 「地域の魅力を紹介する」	・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解します。	○	○	○	b:相手に興味や関心を持ってもらうために情報や資料を整理し、工夫して紹介文を書いている。 c:目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	